

給食雑学

懐かしの給食を思い出してみよう

誰もが食べたことのある学校給食。給食は“食育の原点”と呼ばれ、戦前～戦後～現代と変化しながら、次代を担う子供達の健全な成長に寄り添って来ました。

「給食」は、学校生活の中でも一番の楽しい時間。あの味、懐かしく思い出しますよね。今月はそんな懐かしい『給食』の雑学を紹介します。

01 給食のはじまり。



日本で最初の学校給食

給食がいつどこで始まったのかご存知ですか？1889(明治22)年、山形県鶴岡町で僧侶たちがつくった私立忠愛小学校において、貧困児童のためにおにぎり・焼き魚・漬物の昼食が無料で配布されました。これが学校給食のはじまりとされています。

02 ソフト麺の正式名称。



「ミートソースとソフト麺」、給食によく出ませんでしたか？スパゲティのようなうどんのようなソフト麺。実はこのソフト麺自体は、正式名称「ソフトスパゲッティめん」と言い、ソフト麺は略称だったのです。

03 陶器の食器？

最近では、軽くて割れないポリエチレンの食器ではなく、陶磁器の食器を導入する学校が増加していることをご存知ですか？物の大切さや、手にした時の感触に重点をおく学校が増えているようです。

04 牛乳の移り変わり。

世代や地域によって牛乳の容器が異なることをご存知ですか？ビン牛乳や、三角錐のテトラ・クラシック、四角いパックのブリックパック。みなさんの給食での牛乳はどんな容器に入っていましたか？



1949年～
アルミカップ

1964年～
テトラ・クラシック

1966年前後～
ビン牛乳

1980年代～
ブリックパック、ゲートトップ

05 なぜ給食には牛乳？

お米に牛乳は合わないと考えたことありませんか？なんと、給食には牛乳が含まれるように学校給食法施行規則により決められているのです。その規則とは、1954年に定められ、『完全給食とは、給食内容がパン又は米飯、ミルク及びおかずである給食をいう。』というものです。日本人の栄養摂取のデータから、カルシウム不足が指摘され、カルシウムを補うのに効率の良い牛乳が、給食には毎回出ていたようです。

しかし、最近では、牛乳廃止を行う学校も増えてきています。他の食材で栄養を賄うよう工夫がされているようです。



Q. 好きだった給食メニューは？

—シンカのスタッフに聞いてみました—

A. ビン牛乳(委託乳) (野々山) A. カレーライス (水野)

A. ソフト麺 (島、戸塚) A. 鶏肉のごまよこし (大岡)

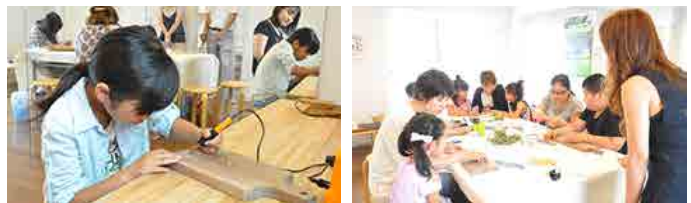
A. 肉じゃが (出口) A. 鯖の味噌ホイル包み (菅原)

A. ババロア (池本) A. ミルメーク (細丸)

みなさんは好きな給食メニューはありましたか？昔も今も変化はあってもずっと続いている給食文化。食を大切にするという気持ちをいつまでも忘れないようにしたいですね。

たかはま食育フェスタのメインイベントである
スタンプラリーに CINCA も協賛しました。

オリジナルカッティングボードを作ろう！



6月19日、高浜市が食育推進協議会10周年を記念して『たかはま食育フェスタ』を開催。そのメインイベントであるスタンプラリーのサテライト会場の一つとして CINCA も参加。当日は TERRACE_HAUS にて、参加者のみなさまとおしゃれに盛り付けすることのできるカッティングボード作りをしました。

これからも地元の建設会社として、家族が楽しく食事をすることができる空間のご提案を通じ、高浜の食育文化の発展に貢献していきます。



“祝” 完成
OH! my home

● Kさんの家 ● 安城市

●家づくりの話をお聞かせください

色々な繋がりをきっかけにシンカさんで家づくりをお願いすることになり、念願のマイホームがとても満足のいく仕上がりになりました。設計を担当してもらった宇野さんには漠然とした希望を伝えただけにもかかわらず、それを素敵に形にしてくれました。

新しい家に住み、約1ヶ月経ちましたが子供たちが笑顔で走り回っている姿を見ると、シンカさんで建ててよかったと思います。たくさんの方の協力があったこの家が建ちました。本当にありがとうございます。

吹き抜けでとっても開放的。
デザイン階段や木のぬくもりが漂う和室など、こだわりが詰まっていますね。
家族をいつでも感じることでできる素敵なお家です。



ダイナミックな外観。
奥まった玄関は雨天時とても便利です。



新・スタッフ紹介



- 額田郡出身
- 好きなもの
シンプルなデザイン
- 好きな本
雑誌
(インテリア&ファッション)
- 尊敬している人
コンシェルジュ 阿部圭さん
- 好きな漫画
花より男子
- 好きなこと
美術館&カフェ巡り

みなさんこんにちは。5月からシンカで働くことになりました、田村瑠美(たむらるみ)と申します。仕事内容としては、契約後のお客様と内装材、設備、照明等を打ち合わせさせていただきコーディネーターです。

前職は、設備メーカーでショールームアドバイザーとして働いておりましたが、家庭の都合で転職を考え、縁があってシンカに入社させていただきました。

“お客様と打ち合わせた内容が実際に住まいとして形になる”というインテリアコーディネーターの仕事に学生の頃から憧れておりました。早く知識を得て、お客様の家づくりのサポートをさせていただきたいと思います！

第2回しばふプロジェクトレポート



6月25日、高浜南部保育園で園児たち、保護者の皆さま、保育士の方と一緒に芝生を植えました。芝生貼りの指導は高浜の山本造園さん。しばふレンジャーも登場し、目土入れ→化成肥料やり→水まきまで楽しみながら作業を行いました。終了後には、まちづくり協議会の皆さんがかき氷などを振る舞ってくださり、全員で美味しくいただきました。

芝生が青々育ち、緑いっぱいの園庭を子供達が走り回る姿を早くみたいですね。今回しばふプロジェクトにご協力いただいた各方面のみなさん、本当にありがとうございました。今後の活動にご期待ください！

